

「うわばき」VS「うわぐつ」投票対決実施!



地域により言い方が異なる「うわばき」「うわぐつ」。学校で履いていたあの履物、どちらが主流なのか決着をつけるべくWEB投票アンケートを開催し、25,000票を超える投票をいただきました。

結果は、うわばき:58.7%、うわぐつ:41.3%で「うわばき」の勝利!

投票とともに、当社に対する貴重なご意見、応援メッセージを多数頂戴いたしました。真摯に受け止め、事業に反映してまいります。

平成30年春夏商品

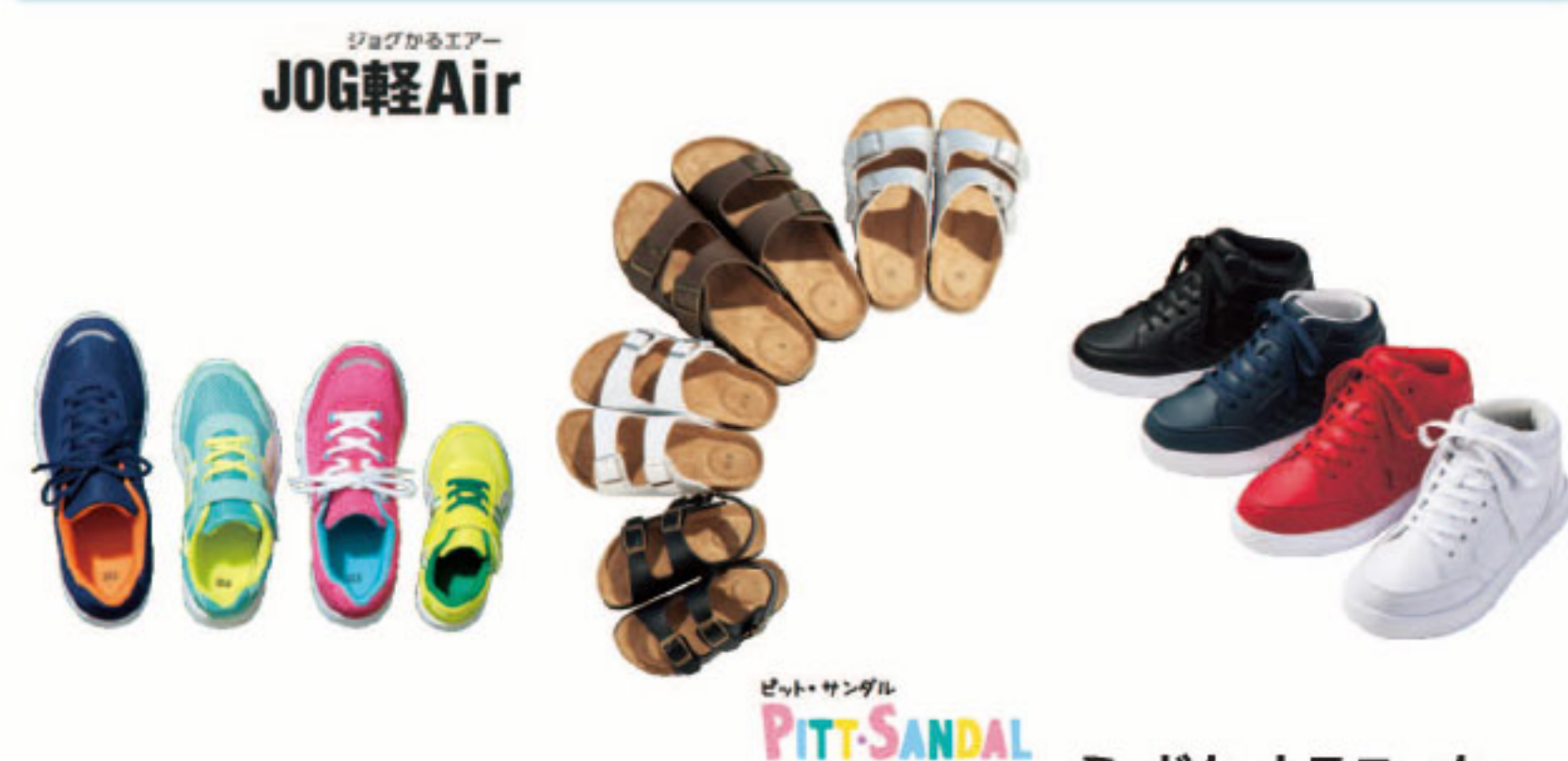


スポーツスニーカー・
ジョグ軽Air
2018モデル ¥780+税
子供から大人まで履ける豊富な
サイズ展開。その軽さが、歩
くのを楽しくさせる。人気の
JOG軽、今年の新作。

ファミッポン
キッズ&ジュニア ¥180+税
レディース・メンズ ¥499+税
「いつでも、どこでも、みんなが
履ける」ファミッポン! しっかり
設計でこの価格。

水陸両用シューズ・
アクアレジャー ¥780+税
海や川遊びはもちろん! フェス
やガーデニング、洗車時など
用途は様々! 一足あるととても
便利。

平成29年ヒット商品



スポーツスニーカー・
ジョグ軽Air ¥780+税
人気のJOG軽が驚きの軽さと
優れた通気性でさらなる進化
を遂げました。

ピット・サンダル
2017モデル ¥499+税
ふかふかクッション & 屈曲性
の良いソールで履きごちア
ップ。

ミッドカットスニーカー
キッズ&ジュニア ¥680+税
レディース・メンズ ¥780+税
ミッドカットなのに軽い! 快適
な履き心地とシンプルなデザ
インが好評。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 株主優待 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)で行っております。

■住所変更、単元未満株式買取のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待特典のお知らせ

平成30年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株
式を保有する株主様に対し、当社お買物券(2,000円相当)を贈呈いたします。
※当社お買物券は当社通信販売、または当社店舗にて使用できます。
※贈呈時期は秋冬新商品カタログの発行に合わせて、平成30年8月下旬頃の発送を予定しております。



靴への想いをカタチにかえて...

第12回 ヒラキ靴短冊大賞作品募集中!

応募方法など詳しくは、<https://www.hiraki.co.jp/>をご覧ください。

ヒラキのホームページでは、IRニュースやプレスリリースほか、会社情報など、
株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。
また、ヒラキ通販サイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスして
みてください。



<http://company.hiraki.co.jp/>

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先:総務部]
〒651-2494 神戸市西区岩岡町野中福吉556
TEL:078-967-4601 FAX:078-967-4603

当株主通信は環境に配慮した再生紙、
及びインクを使用しております。
また、読みやすいUDフォントを使用しております。



「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

他にはない
他ではできない
それがヒラキです。

いつでも、どこでも、みんなが履ける豊富なサイズ展開

Famipon
ファミッポン



キッズ&ジュニア
¥180+税

レディース・メンズ
¥499円+税

第41期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第41期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）が終了しましたので、決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。
今後とも当社の基本方針である「長期安定的な企業価値の向上」を目指してまいりますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役 社長執行役員
向畑 達也

連結

売上高	17,788百万円 (前期比 2.2%減)
営業利益	1,053百万円 (前期比 29.6%増)
経常利益	1,069百万円 (前期比 38.5%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	728百万円 (前期比 38.5%増)
1株当たり 当期純利益	149円66銭 (前期比 41円64銭増)
期末配当	10円 (前期は12円(うち記念配当2円))

年間配当20円
(前期は22円(うち記念配当2円))

事業の概況

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、引き続き緩やかな景気回復基調にあるものの、実質賃金の伸び悩み、米国の不安定な政策運営など、景気の先行きは不透明な状況となっています。

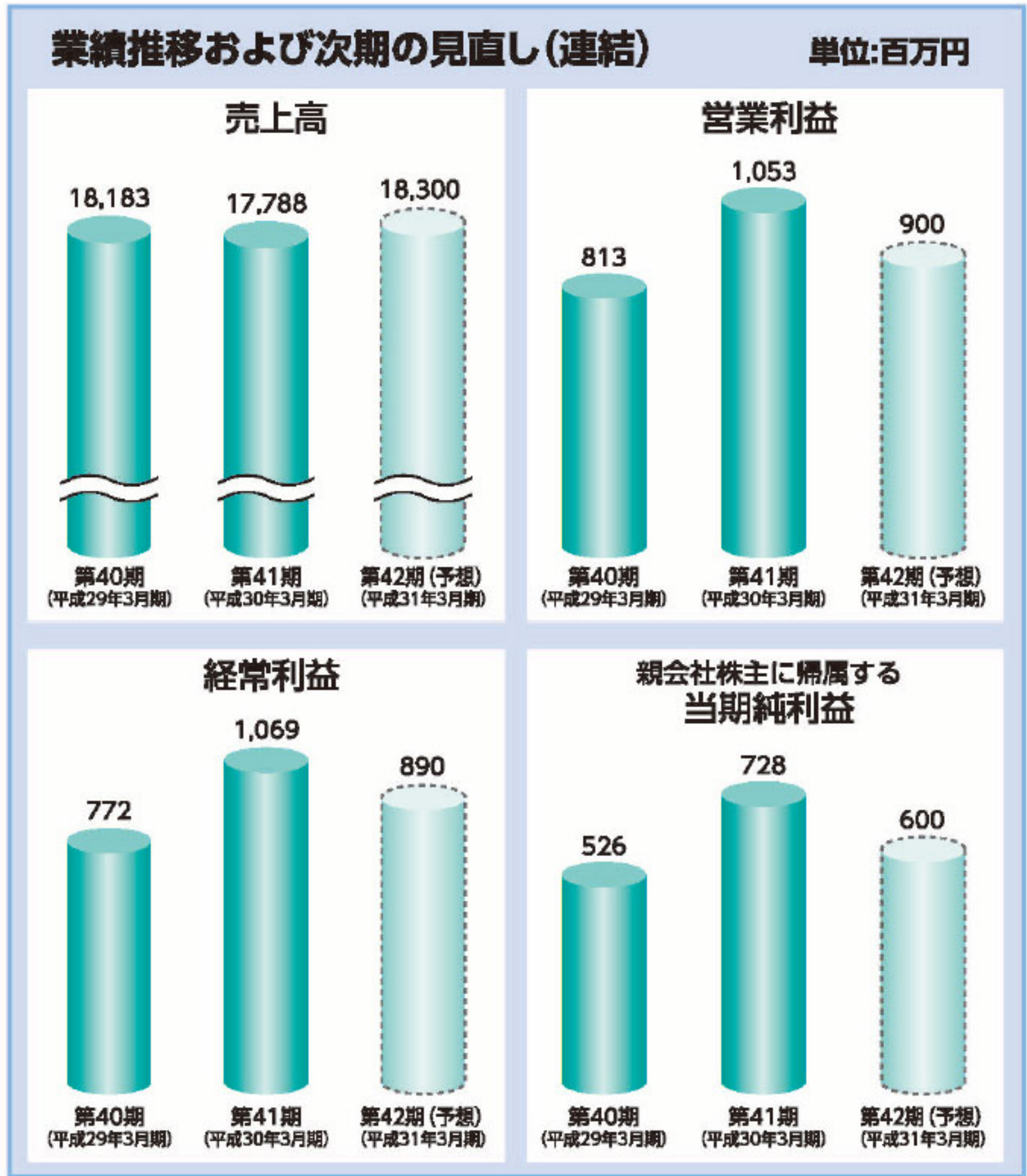
当社グループが属する小売業界におきましては、個人消費は緩やかに持ち直しているものの、将来不安から来る消費者の生活防衛意識が依然として根強く、引き続き予断を許さない経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、本年度は「2015年度～2017年度中期経営計画」の最終年度を迎え、靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す靴総合販売会社への地歩を固めるべく、安く作り・安く売る体制の強化に取り組んでまいりました。

販売促進面では、首都圏・中部圏・関西圏を主に延べ6ヶ月テレビCMを放映するとともに、全国の食品スーパーや100円ショップ27千ヶ所に240万部の無料カタログを設置、レジ袋へのチラシ720万部の封入、そして「靴のヒラキ」の出張販売など新規顧客の獲得に努めました。

商品面では、売上のけん引役となる圧倒的低価格の販売促進商品、『JO G軽Air(780円)』が22万足、『PITTサンダル(499円)』が累計41万足を超えるヒット商品となりました。一方で、秋・冬用の販売促進商品は残暑の影響もあり、8・9月における販売に苦戦いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における連結売上高は、177億88百万円(前期比2.2%減)、営業利益は10億53百万円(前期比29.6%増)、経常利益は10億69百万円(前期比38.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億28百万円(前期比38.5%増)となりました。



事業のセグメント別概況

通信販売事業

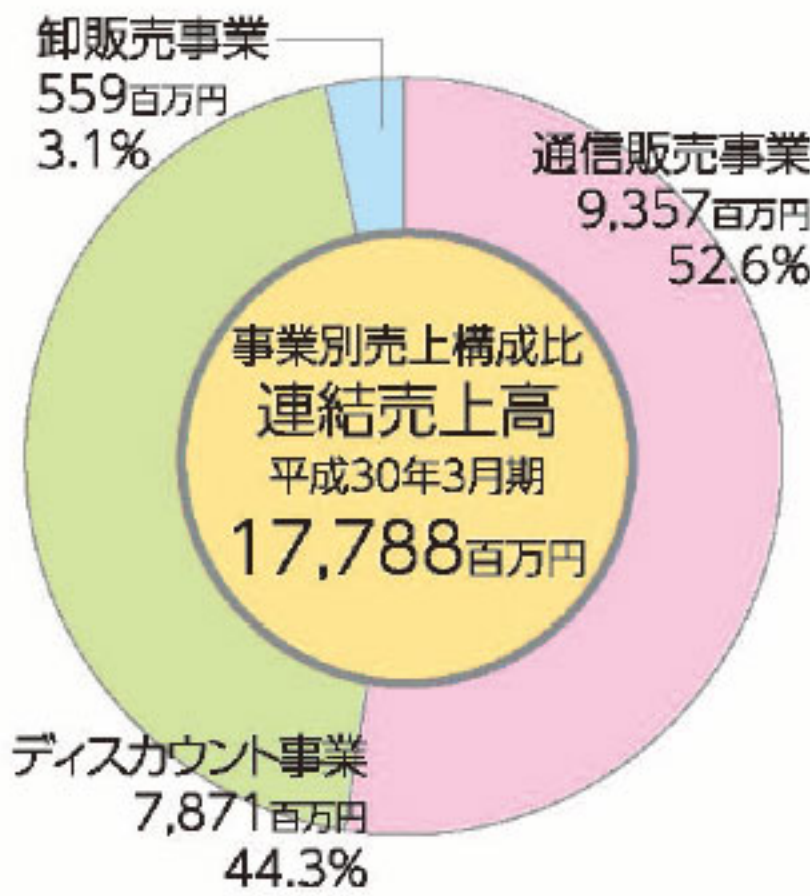
■注文経路の6割弱を占めるWEBサイトにおけるデジタル広告の強化、およびSNSの活性化を図るなど新規顧客の獲得とあわせ、既存顧客との接点を拡充するため、LINE@の配信内容の強化や1to1マーケティングを開始いたしました。

この結果、受注件数は概ね前年を確保できましたが、売上高は、受注単価の低下により、93億57百万円(前期比0.8%減)となりました。利益面は、為替要因や新規工場開拓による仕入原価低減が図られ、売上総利益率が大きく改善し、セグメント利益(営業利益)は12億38百万円(前期比25.4%増)となりました。

ディスカウント事業

■来店客数・買い上げ点数アップおよびPB商品の売上増加策に加え、長期催事を繰り交ぜた40ヶ所での出張販売を精力的に実施した結果、靴・衣料の売上およびPB商品の売上は増加したものの、競合の激しい食品・日用雑貨の売上減少を補うことができず、前期売上高の確保に至りませんでした。

この結果、売上高は78億71百万円(前期比1.9%減)となりました。利益面では、PB商品の売上増加ならびに売上構成比のアップによる売上総利益の増加、および広告宣伝費を主に販売費及び一般管理費の減少により、セグメント利益(営業利益)は1億28百万円(前期比65.8%増)となりました。



卸販売事業

■ホームセンター等との新規取引が始まったものの、大口OEM先に対する新商品の受注が伸び悩んだことに加え、靴小売店向け卸販売においてはリピート率が低下した結果、売上高は5億59百万円(前期比23.4%減)、セグメント利益(営業利益)は58百万円(前期比47.7%減)となりました。

中期事業戦略

唯一無二の靴総合販売会社へ 成長と収益力の強化

1. 情報・仕入・販売における3事業連携による自社開発商品力の強化
2. SPAに係る生産性向上ならびに総合的な品質・サービスの改善
3. ローコスト運営を徹底し、お客様に驚きの低価格を提供

通信販売事業

- 強みである「靴」と「安さ」の更なる強化による、新しいファンの獲得とリピーターの拡大
- カタログとネットの相乗効果による事業拡大

ディスカウント事業

- 仕入・商品・売場等の現場改革を推進し、販売足数日本一の靴売場を完成
- 地元密着・低価格・品揃えを武器に、ワクワク感のある店作り

卸販売事業

- 既存取引先との取り組み強化、他業態の靴売場プロデュース
- 新規大口取引先の開拓と販売モデルの確立

平成31年3月期連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
(%表記は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
	9,000	0.9	420	△18.4	410	△19.0	280	△17.7	57円48銭
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
	18,300	2.9	900	△14.6	890	△16.8	600	△17.7	123円18銭